



最初にお読みください

AT-TQ3600 リリースノート

この度は、AT-TQ3600 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.0.2

2 本バージョンで修正された項目


ファームウェアバージョン 2.0.1 から 2.0.2 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

2.1 電源を投入したとき、まれに起動に失敗することがありましたが、これを修正しました。

3 本バージョンでの制限事項


ファームウェアバージョン 2.0.2 には、以下の制限事項があります。

3.1 無線

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「詳細設定」 / 「無線」


「無線」画面で「チャンネル選択」を「Auto」、「使用帯域幅」を「40MHz」に設定した場合でも、本製品の起動直後は 20MHz 帯域幅のみで動作します。本製品の起動から約 30 分程度経過すると、40MHz で動作するようになります。起動直後から 40MHz で動作させる場合は、「チャンネル選択」を「固定設定」に設定してください。

3.2 VAP

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「詳細設定」 / 「VAP」


ダイナミック VLAN (WPA エンタープライズ) 環境で、無線クライアントの検疫を実行するように RADIUS サーバーが設定されている場合、無線クライアントに VLAN 間ローミングが発生すると、無線クライアントの認証に失敗することがあります。

3.3 WDS

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「詳細設定」 / 「WDS」

WDS において、2 台以上のアクセスポイントを中継した多段接続は未サポートとなります。無線ネットワークの中心となる 1 台のアクセスポイントに対し、同一機種を最大 4 台まで接続し、エリアを拡張することができます。

3.4 送信 / 受信

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「ステータス」 / 「送信 / 受信」

「送信 / 受信」画面の wlan0wds0 ~ 3 の「ステータス」が正しく表示されません。

4 リファレンスマニュアルについて

最新のリファレンスマニュアル（613-001462 Rev.E）は弊社ホームページに掲載されていません。本リリースノートは、上記のリファレンスマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのリファレンスマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>